

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	1-2-1(バス)	分類	共通	担当課	業務課	戦略	安全・安心の推進			年度	R3
取組	危機・自然災害への対応				個別取組	危機・自然災害への対応訓練の実施					
目的	関係機関と連携した防災訓練等を行うことで、職員の意識と対応能力の向上を図り、地震や大雨等の災害時及びテロ等発生時においてもお客さまの安全を確保できるようにする。										
内容	関係機関と連携し地震や大雨等の大規模災害及びテロ対策等を想定した対応訓練を実施する。										
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7						
予定	各種の対応訓練実施										
実績	火災予防運動に合わせた訓練の実施										
	車内トラブル対応訓練等の検討										

【年度計画】

目標と実施方法	・バス全営業所の参加のもと、大規模災害やバス事故等を想定した対応訓練を実施し、各職員の対応等を確認、見直しを行う。 ・災害等対応訓練 ・バスジャック対応訓練 ・車両火災を想定した消火及び乗客避難誘導訓練	数値目標	・対応訓練1回実施 ・火災予防運動に合わせて春・秋各1回
---------	--	------	---

【年度評価】

評価	◎	進捗状況・評価の説明	・火災予防運動に合わせた訓練については、予定通りに実施した。 ・京王線での傷害事件を踏まえた車内トラブル対応訓練等の検討については、令和4年度バスジャック等対応訓練等の実施について検討した。 ・6月に実施された総合防災訓練において情報伝達訓練を実施した。	数値目標の達成状況	火災予防運動に合わせた訓練の実施については、予定通りに達成した。
課題と改善策	各種実動訓練については、各関係機関においての新型コロナウイルス感染拡大防止の基準や考えにより中止や延期になる事が課題となる。				

【備考】

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	1-2-1(地下鉄)	分類	共通	担当課	安全推進課	戦略	安全・安心の推進	年度	R3
取組	危機・自然災害への対応			個別取組	危機・自然災害への対応訓練の実施				
目的	関係機関と連携した防災訓練等を行うことで、職員の意識と対応能力の向上を図り、地震や大雨等の災害時及びテロ等発生時においてもお客さまの安全を確保できるようにする。								
内容	地震や大雨等の大規模災害及びテロ対策(バスジャックや車内不審物)等を想定した対応訓練を行う。								
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7				
予定	各種の対応訓練(主に防災訓練)の実施								
					・令和8年度以降の訓練計画策定				
実績	各種の対応訓練(主に防災訓練)を実施								

【年度計画】

目標と実施方法	・仙台市交通局高速鉄道防災等に関する取扱要領及び仙台市交通局高速鉄道安全基本計画に基づき訓練を実施する。 ・担当者会議等において、より効果的な訓練方法を検討する。	数値目標	年間2回実施。
---------	--	------	---------

【年度評価】

評価	◎	進捗状況・評価の説明	・総合防災訓練は時期を早めて6月に実施し、11月に除雪運転訓練を実施した。 ・PDCAによる振り返りも実施した。	数値目標の達成状況	年間2回実施した。
課題と改善策					

【備考】

※1 地下鉄の安全・安心への取組みについては、下記リンクよりご確認ください。 仙台市交通局ウェブサイト[地下鉄の安全・安心への取組み]

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	1-2-2	分類	共通	担当課	業務課、安全推進課		戦略	安全・安心の推進		年度	R3
取組	危機・自然災害への対応				個別取組	計画運休					
目的	気象状況等に応じ計画運休(※1)を実施することで、お客さまや職員の安全を確保するとともに、バスや地下鉄の車両等への被害を最小限に抑え、早期の運転再開を行えるようにする。										
内容	・気象状況等に応じ計画運休を行う。 ・計画運休にかかるマニュアルを定期的に見直すことで、実効性の高いものとする。										
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7						
予定	気象状況等に応じ計画運休の実施、随時マニュアルの見直しを実施										
実績	市バス計画運休マニュアルの作成										
	地下鉄計画運休マニュアル見直しの実施										

【年度計画】

目標と実施方法	- 市バス計画運休マニュアルを作成する。 - 地下鉄計画運休マニュアルの見直しを随時行う。	数値目標	
---------	--	------	--

【年度評価】

評価	◎	進捗状況・評価の説明	- 地下鉄計画運休マニュアルの点検を実施した。 8月には「バス計画運休に伴う情報伝達・お客様対応マニュアル」を作成した。	数値目標の達成状況	
課題と改善策					

【備考】

※1 計画運休については、下記リンクよりご確認ください。
[仙台市交通局ウェブサイト「市バス・地下鉄の「計画運休」について」](#)

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	1-2-3	分類	共通	担当課	業務課、営業課	戦略	安全・安心の推進	年度	R3
取組	危機・自然災害への対応				個別取組	適切な情報発信			
目的	危機・自然災害時に、市バス・地下鉄の運行情報を適時にわかりやすいかたちで発信することで、お客さまの安全を確保する。								
内容	・交通局ウェブサイト、Twitter(@sendaishi.kotu)などを適切に活用する。 ・状況の変化に合わせ、わかりやすいかたちで発信する。								
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7				
予定	適切な情報発信の実施								
実績	適切な情報発信を実施								

【年度計画】

目標と実施方法	危機・自然災害時に、交通局ウェブサイト、Twitterなどで市バス・地下鉄の運行情報を発信する。	数値目標	Twitterのフォロワー数を前年度実績より増加
---------	--	------	--------------------------

【年度評価】

評価	◎	進捗状況・評価の説明	【市バス運行情報】 交通局ウェブサイトやTwitterなどで災害発生時における市バス・るーぶる仙台の迂回運行及び運休等に関する情報を随時発信した。 【地下鉄運行情報】 地震発生時(5月・3月)や車両故障発生時(6月)運行停止など、地下鉄が通常どおりの運行をしなかった際、交通局ウェブサイトやTwitterを活用し、運行状況の変化に応じてお客さまに随時情報を発信した。	数値目標の達成状況	フォロワー数は下記の通り、前年3月末と比較しおよそ67%の増加となり、目標を達成した。 令和3年3月末 7,800人 令和4年3月末13,000人
課題と改善策					

【備考】

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	1-2-4(バス)	分類	共通	担当課	業務課	戦略	安全・安心の推進	年度	R3
取組	危機・自然災害への対応				個別取組	非常時における電源、燃料の確保			
目的	非常時における電源、燃料の確保を行うことで、大規模災害や停電時においても市バスの運行を継続できるようにする。								
内容	・バス営業所・出張所に非常用発電機を配備し適切に維持・管理する。 ・平成24年度に宮城県石油商業協同組合と締結した「災害等における燃料等の供給協力に関する協定書」を継続する。								
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7				
予定	非常用発電機の維持・管理、宮城県石油商業協同組合との協定継続								
実績	非常用発電機の維持・管理、宮城県石油商業協同組合との協定継続								

【年度計画】

目標と実施方法	バス営業所・出張所に非常用発電機を配備し適切に維持・管理する。また、平成24年度に宮城県石油商業協同組合と締結した「災害等における燃料等の供給協力に関する協定書」を継続する。	数値目標	非常用発電機の状態の確認を年1回以上実施する。
---------	---	------	-------------------------

【年度評価】

評価	◎	進捗状況・評価の説明	定期的に非常用発電機の状態を確認するとともに「災害等における燃料等の供給協力に関する協定書」を継続した。	数値目標の達成状況	非常用発電機の状態の確認を毎月1回実施した。
課題と改善策					

【備考】

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	1-2-4(地下鉄)	分類	地下鉄	担当課	電気課	戦略	安全・安心の推進	年度	R3
取組	危機・自然災害への対応			個別取組	非常時における電源、燃料の確保				
目的	非常時における駅舎の電源を確保することで、大規模災害や停電時においても地下鉄駅舎での業務を継続できるようにする。								
内容	北仙台変電所非常用発電設備は開業以来、33年が経過し、老朽化に伴い故障頻度が高くなることから、令和4年度までに更新し設備の信頼性を回復する。外4基の非常用発電設備についても定期的な点検を実施し適切な維持管理を行う。								
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7				
予定	北仙台変電所設備更新								
	南北線3基、東西線2基の非常用発電設備保守点検								
実績	北仙台変電所設備更新								
	南北線3基、東西線2基の非常用発電設備保守点検								

【年度計画】

目標と実施方法	令和4年度に行う北仙台変電所非常用発電設備更新工事の間、当該設備が使用できないことから、関係部署と工事中の運用(災害時における南北線駅舎等設備電源のバックアップ運用)について決定する。	数値目標	
---------	--	------	--

【年度評価】

評価	○	進捗状況・評価の説明	計画通り更新計画を決定した。 工事中の電源バックアップ運用については、令和4年度に発注する関連工事との調整を行ったうえで、令和4年6月までに決定することとした。	数値目標の達成状況	
課題と改善策	更新工事中の南北線各駅の電源バックアップ運用については、令和3年度中に決定することになっていたが、令和4年度上期に発注する非常用発電設備更新工事の関連工事の状況を踏まえての検討が必要であり、関連工事の施工業者と契約後の令和4年6月に、非常用発電設備更新工事施工業者並びに関連工事の施工業者を含めた形で検討を行うことにした。				

【備考】

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	1-2-5(バス)	分類	共通	担当課	業務課		戦略	安全・安心の推進		年度	R3
取組	危機・自然災害への対応				個別取組	大雨による浸水への対応					
目的	大雨等の災害発生を想定し必要な準備を行うことで、災害発生時においても市バス営業所の機能を維持できるようにする。										
内容	大雨時にバス営業所施設への浸水を防ぐため営業所に土のうを配備する。また、大雨警報等が発令された場合には必要に応じてバス車両を安全な場所へ退避させるとともに、運行再開前には路線巡回を実施し、安全輸送の確保に努める。										
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7						
予定	大雨等の災害に備えた準備										
実績	ハザードマップを基に危険箇所を路線図への落とし込みを実施										

【年度計画】

目標と実施方法	・大雨に備えてバス営業所に土のうを配備する。 ・大雨警報等が発令された場合は、路線巡回等を行い情報収集に努める。 ・ハザードマップを基に営業所や路線の危険箇所を把握する。	数値目標	・土のうの保管状況の確認を年1回以上実施する。 ・営業所から車両を避難させるための運転訓練を、管理要員を対象に年1回以上実施する。
---------	---	------	--

【年度評価】

評価	◎	進捗状況・評価の説明	ハザードマップを基に路線図への落とし込みを実施し、危険箇所の把握を行った。	数値目標の達成状況	・土のうの保管状況の確認を年1回実施した。 ・営業所から車両を避難させるための運転訓練を、管理要員を対象に年1回実施した。
課題と改善策					

【備考】

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	1-2-5(地下鉄)	分類	共通	担当課	駅務サービス課、施設課	戦略	安全・安心の推進	年度	R3
取組	危機・自然災害への対応			個別取組	大雨による浸水への対応				
目的	大雨等の災害発生を想定し必要な準備を行うことで、お客さまの安全の確保及び地下鉄施設・設備の保全を図る。								
内容	・台風等の大雨により、冠水が想定される箇所をハザードマップ等により確認し、必要に応じて土のうや止水板(※1)を配備する。 ・大雨警報等が発令された場合は、巡視等による情報収集を行い、車両の移動等、通常運行に影響が生じないよう情報提供を行う。								
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7				
予定	止水板設置箇所見直し 見直しを受けて、必要な箇所に止水板を 防災教育の充実 止水板設置訓練の実施、ハザードマップによる浸水想定区域の把握、避難経路の確認、自衛水防組織活動の理解								
実績	防災教育(各種訓練等)を実施 止水板設置箇所見直し								

【年度計画】

目標と実施方法	・ハザードマップ(R3.3改訂版)及び地下鉄各駅出入口の実情を把握し、止水板設置が必要な箇所を抽出する。 ・駅構内浸水防止に関する活動(止水板設置・避難誘導等)の習熟及びハザードマップによる浸水対象区域(対象駅)を把握し、駅構内浸水時の的確な対応等認識を深め情報共有を図る。	数値目標	年1回止水板設置・避難誘導訓練を実施する。
---------	--	------	-----------------------

【年度評価】

評価	◎	進捗状況・評価の説明	・止水板の設置箇所の見直しを行い、新たに設置が必要となった箇所について、整備計画を作成した。 ・全駅係員(委託含)が止水板設置訓練・避難誘導訓練を行い、大雨等の災害時に速やかな対応が可能となるよう、止水板を新設した五橋駅を加えて実施した。また、昨年度訓練した駅と違う駅で訓練を実施することで、駅ごとに形状が異なる止水板取扱いの習熟を図ることができた。 ・大雨警報発令時、こまめな駅構内巡回により漏水箇所発見時に適切な対応が取れたことから、訓練の効果が確認できた。 ・委託職員の技能を高めるため、委託事業所が実施している訓練は、駅長等が現場で訓練状況を確認し必要な助言を行っている。	数値目標の達成状況	全ての訓練を予定通り実施し、数値目標は達成できた。
課題と改善策	・止水板の仕様が統一されていないため、駅毎の設置取扱いに係る習熟を図っていく必要があることから、止水板設置訓練実施駅を毎年変更する。 ・ハザードマップが変更された際には、速やかに周知を図る。				

【備考】

※1「止水板」とは、台風、集中豪雨等で出入口から雨水の流入が予想されるときに、駅構内への浸水被害の防止を図るために出入口に設置する浸水防止用の板のことです。

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	1-2-6(バス)	分類	共通	担当課	業務課・輸送課・整備課	戦略	安全・安心の推進			年度	R3
取組	危機・自然災害への対応				個別取組	感染症対策					
目的	感染症対策を実施することで、お客さまに安全・安心に乗りいただく。										
内容	・新型コロナウイルス感染症対策(※1)として、感染予防のためのガイドラインに基づき様々な取組みを実施する。 ・毎月1度、市バスの系統毎に時間帯別の混雑状況を交通局ホームページで公表する。										
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7						
予定	感染症対策の実施、混雑状況の公表					コロナのワクチン接種状況や感染状況等を踏まえ、必要性がある限り継続実施					
実績	感染症対策の実施、混雑状況の公表										

【年度計画】

目標と実施方法	・感染予防の基本である乗務員のマスク着用や車内換気を徹底する。 ・定期的にバス運転席付近の間仕切りの設置状況の確認を行う。 ・バス車両に雨よけ用側窓バイザーを取り付ける。 ・営業所内定期券発売所等への抗ウイルスコーティングを実施する。 ・毎月1度、市バスの系統毎に時間帯別の混雑状況を交通局ホームページで公表する。	数値目標	・雨よけ用側窓バイザーを88両に設置する。 ・営業所内定期券発売所等5か所で抗ウイルスコーティングを実施する。 ・市バス混雑状況を月1回公表する。
---------	---	------	---

【年度評価】

評価	◎	進捗状況・評価の説明	・計画通り側窓バイザーを88両へ設置し、全体のうち18.8%の車両に設置が完了した。 ・計画通り営業所内の定期券発売所等5ヶ所へ抗ウイルスコーティングを行った。 ・市バス混雑状況を月1回公表した。	数値目標の達成状況	・側窓バイザーを88両へ設置した。 ・営業所内の定期券発売所等5ヶ所へ抗ウイルスコーティングを行った。 ・市バス混雑状況を月1回公表した。
課題と改善策					

【備考】

※1 仙台市交通局の新型コロナウイルス感染症対策については、下記リンクよりご確認ください。 仙台市交通局ウェブサイト「新型コロナウイルス感染症特設ページ」

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	1-2-6(地下鉄)	分類	共通	担当課	営業課、車両課	戦略	安全・安心の推進			年度	R3
取組	危機・自然災害への対応				個別取組	感染症対策					
目的	感染症対策を実施することで、お客さまに安全・安心に乗りいただく。										
内容	・新型コロナウイルス感染症対策(※1)を実施する。 ・抗ウイルスコーティング処置済みの地下鉄全車両について、定期的に検査を行い、コーティングの効果確認と機能維持に努める。										
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7						
予定	感染症対策の実施										
	定期的な効果確認検査の実施										
実績	感染症対策の実施										
	定期的な効果確認検査の実施										

【年度計画】

目標と実施方法	・車内の換気 ・車内放送やポスター等によるマスク着用など咳エチケットの呼びかけ ・車内混雑情報の公表 ・コーティング施工後6か月と12か月経過後に効果確認検査を実施する	数値目標	・車内混雑情報を週1回公表 ・効果確認検査を全編成(南北線と東西線)で各2回実施する。
---------	---	------	--

【年度評価】

評価	◎	進捗状況・評価の説明	・お客さまに安心して地下鉄を利用していただけるよう、車内の常時換気を実施したほか、車内放送やポスター等によるマスク着用など咳エチケットの呼びかけを実施した。また、車内混雑情報を交通局ウェブサイト(※1)やTwitterで発信したほか、駅窓口にも掲示し、時差通勤等に活用いただくよう、毎週公表した。 ・全編成の効果確認を予定通り実施し、効果が継続していることを確認した。	数値目標の達成状況	・車内混雑情報を週1回公表し、目標を達成した。 ・効果確認検査 目標2⇒実績2(100%達成)
課題と改善策					

【備考】

※1 仙台市交通局の新型コロナウイルス感染症対策については、下記リンクよりご確認ください。

[仙台市交通局ウェブサイト\[新型コロナウイルス感染症特設ページ\]](#)